

明 細 書

発明の名称： ゴルフカート

技術分野

[0001] この発明はゴルフカートに関し、より特定的には、ゴルフバッグを載せることができる載置部および人が乗ることができるステップを備えたゴルフカートに関する。

背景技術

[0002] 従来、ゴルフバッグ等の荷物を載せるための載置部を備えたゴルフカートが提案されている。

[0003] たとえば、特許文献1には、1列の座席および座席の後方に設けられるバッグ載置枠を備えたゴルフカートが記載されている。バッグ載置枠は、後車輪の上方から後方斜め上方に延びるように設けられる。このゴルフカートでは、バッグ載置枠によってゴルフバッグを後方に傾けて支持できる。これにより、ゴルファーまたはキャディー（以下、ゴルファー等と記載する）は、バッグ載置枠に支持されたゴルフバッグからゴルフクラブを容易に取り出すことができる。

[0004] ところで、特許文献1のゴルフカートのような1列座席の小型のゴルフカートは、乗車定員が少ない（たとえば、2人）。そこで、このような小型のゴルフカートにおいて、ゴルフカートの後部にゴルファー等を乗せるためのステップが設けられる場合がある。たとえば、特許文献1のゴルフカートにおいてステップを設ける場合には、後車輪の後方かつバッグ載置枠の下方にステップが設けられると考えられる。

先行技術文献

特許文献

[0005] 特許文献1：特許第3437562号公報

発明の概要

発明が解決しようとする課題

[0006] 特許文献1のゴルフカートでは、上述のように後車輪の上方から後方斜め上方に延びるようにバッグ載置枠が設けられる。このため、バッグ載置枠の下方にステップを設ける場合には、バッグ載置枠およびゴルフバッグが邪魔になってゴルファー等がステップに乗りにくくなる。ゴルファー等がステップに乗り易くするためには、ステップの前後方向の寸法を十分に大きくしなければならない。具体的には、バッグ載置枠の後端よりも十分に後方までステップを延ばさなければならない。しかしながら、この場合、ゴルフカートの前後方向の寸法が大きくなってしまい、ゴルフカートを小型に構成できない。

[0007] 上記のゴルフカートにおいて、バッグ載置枠の地面に対する角度を90度に近づけることによって、ゴルファー等がステップに乗る際にバッグ載置枠およびゴルフバッグが邪魔になることを抑制できる。しかしながら、この場合、ゴルフバッグの上端部の位置が高くなってしまい、ゴルファー等はゴルフバッグからゴルフクラブを容易に取り出すことができなくなってしまう。

[0008] それゆえに、この発明の主たる目的は、載置部およびステップを備えかつゴルフバッグからゴルフクラブを容易に取り出せる小型のゴルフカートを提供することである。

課題を解決するための手段

[0009] この発明の或る見地によれば、フレーム部と、フレーム部に支持されるシート部と、シート部よりも前方に設けられる一対のフロントホイールと、一対のフロントホイールに取り付けられる一対のフロントタイヤと、シート部よりも後方に設けられる一対のリアホイールと、一対のリアホイールに取り付けられる一対のリアタイヤと、フレーム部に支持されかつ一対のリアタイヤよりも後方まで延びるステップと、ゴルフバッグの底部を支持できかつ少なくとも一部がシート部よりも後方に設けられる載置部とを備え、載置部は、側面視において、各リアホイールの回転中心の上方を通りかつシート部の後端を通る各リアタイヤの接線よりも下方に設けられ、かつ各回転中心よりも前方に設けられる、ゴルフカートが提供される。

- [0010] この発明では、一对のリアタイヤよりも後方まで延びるようにステップが設けられ、一对のリアホイールの各回転中心よりも前方に載置部が設けられる。言い換えると、側面視において一对のリアホイールの各回転中心を間に挟むようにステップおよび載置部が設けられる。このようにステップおよび載置部を配置することによって、ゴルファー等がステップに乗る際に載置部およびゴルフバッグが邪魔にならない。これにより、ステップの前後方向の寸法を大きくしなくても、ゴルファー等は容易にステップに乗ることができる。したがって、ゴルフカートを小型に構成できる。また、載置部は、側面視において、一对のリアホイールの各回転中心の上方を通りかつシート部の後端を通る各リアタイヤの接線よりも下方に設けられる。この場合、載置部を十分に低い位置に配置できる。これにより、ゴルフバッグを後方に大きく傾けなくてもゴルフバッグの上端部の位置を低くできる。その結果、ゴルファー等はゴルフバッグからゴルフクラブを容易に取り出すことができる。
- [0011] 好ましくは、載置部の前端はシート部の後端よりも前方に位置する。この場合、ゴルフカートの前後方向の寸法を小さくできる。
- [0012] また好ましくは、当該ゴルフカートの幅方向におけるステップの寸法は、一对のリアタイヤの外側の端部間の距離よりも小さくかつ一对のリアタイヤの内側の端部間の距離よりも大きい。この場合、ステップが大きくなり過ぎることを防止しつつ、ステップの平面視における面積を十分に確保できる。これにより、ゴルファー等は、ステップの前後方向の寸法を大きくしなくても容易にステップに乗ることができ、かつ走行する際にゴルフカートの横を通り過ぎる人や物と接触することを防ぐ（または抑制する）ことができる。
- [0013] さらに好ましくは、シート部の上方を覆う屋根部と、載置部よりも上方かつ屋根部よりも下方においてゴルフバッグの上部を支持できる支持部とをさらに備え、支持部は、載置部よりも後方でかつ一对のリアタイヤの後端よりも前方に設けられる。この場合、ゴルフバッグの上部を支持する支持部がゴルフバッグの底部を支持する載置部よりも上方かつ後方に設けられるので、ゴルフバッグを後方に傾けることができる。これにより、ゴルファー等はゴ

ルフバッグからゴルフクラブをさらに容易に取り出すことができる。また、支持部が一对のリアタイヤの後端よりも前方に設けられるので、ゴルフバッグの上部の位置が後方になり過ぎることを防止できる。これにより、ゴルファー等がステップに乗る際にゴルフバッグが邪魔になることを十分に抑制できる。

[0014] 好ましくは、平面視において屋根部と支持部の後端とが重ならない。この場合、平面視において、ゴルフバッグの上部を支持する支持部の後端を屋根部から露出させることができる。これにより、ゴルファー等がゴルフバッグからゴルフクラブを取り出す際に屋根部が邪魔にならない。

[0015] また好ましくは、載置部は後方斜め上方を向く。この場合、ゴルフバッグの底部を支持する載置部が後方斜め上方を向いているので、ゴルフバッグを後方に容易に傾けることができる。

[0016] さらに好ましくは、一对のリアタイヤの前方にそれぞれ載置部が設けられる。この場合、2つのゴルフバッグを分散して配置できるので、各ゴルファーは自分のゴルフバッグからゴルフクラブを容易に取り出せる。

[0017] この発明の上述の目的およびその他の目的、特徴、局面および利点は、添付図面に関連して行われる以下のこの発明の実施形態の詳細な説明から一層明らかとなろう。

図面の簡単な説明

[0018] [図1]この発明の一実施形態のゴルフカートを示す側面図（左から見た図）である。

[図2]ゴルフカートを示す側面図（右から見た図）である。

[図3]ゴルフカートを示す後方斜視図である。

[図4]ゴルフカートを示す平面図である。

[図5]ゴルフカートを示す背面図である。

発明を実施するための形態

[0019] 以下、図面を参照してこの発明の一実施形態のゴルフカート10について説明する。なお、以下の説明において前後、左右、上下とは、ゴルフカート

１０のシート部１４に運転者がステアリングホイール４４に向かって着座した状態を基準とした前後、左右、上下を意味する。また、以下の説明において、単に外側という場合はゴルフカート１０の幅方向における外側を意味し、単に内側という場合はゴルフカート１０の幅方向における内側を意味する。図面中の「F r」は前方を示し、「R r」は後方を示し、「L」は左方を示し、「R」は右方を示す。

[0020] 図１～図５を参照して、ゴルフカート１０は、フレーム部１２、シート部１４、一对のフロントホイール１６ a, １６ b、一对のフロントタイヤ１８ a, １８ b、一对のリアホイール２０ a, ２０ b、一对のリアタイヤ２２ a, ２２ b、ステップ２４、一对の載置部材２６ a, ２６ b、屋根部２８、および一对の保持ユニット３０ a, ３０ bを備える。

[0021] 図１および図２を参照して、詳細な説明は省略するが、一对のフロントホイール１６ a, １６ bはフレーム部１２の前部に回転可能に支持され、一对のリアホイール２０ a, ２０ bはフレーム部１２の後部に回転可能に支持される。フロントタイヤ１８ a, １８ bはフロントホイール１６ a, １６ bにそれぞれ取り付けられ、リアタイヤ２２ a, ２２ bはリアホイール２０ a, ２０ bにそれぞれ取り付けられる。

[0022] 図１、図２および図４を参照して、フレーム部１２は、前後方向に延びる一对のメインフレーム１２ a, １２ bおよび上下方向に延びる複数（この実施形態では４つ）の支持フレーム１２ cを含む。なお、図面が煩雑になることを避けるために、図４においては、支持フレーム１２ cを図示していない。

[0023] 図１および図２を参照して、この実施形態では、たとえば、メインフレーム１２ aに一对の支持フレーム１２ cの下端部が接続され、メインフレーム１２ bにも同様に他の一对の支持フレーム１２ cの下端部が接続される。シート部１４は、一对のフロントホイール１６ a, １６ bよりも後方かつ一对のリアホイール２０ a, ２０ bよりも前方において、ゴルフカート１０の幅方向に延びる。シート部１４は、フレーム部１２に支持される。この実施形

態では、シート部 1 4 は、図示しない複数の連結部材等を介して複数の支持フレーム 1 2 c に支持される。図 4 を参照して、平面視において、シート部 1 4 の後部の中央部（ゴルフカート 1 0 の幅方向における中央部）は後方に膨らんでいる。

[0024] 図 1 ～図 3 を参照して、シート部 1 4 の後方斜め上方に背もたれ 3 2 が設けられる。詳細な説明は省略するが、背もたれ 3 2 は、グラブハンドル 3 4 を介して後述するセンターカバー部 5 4 に支持される。図 1 および図 2 を参照して、背もたれ 3 2 の後方に、荷物を収容するためのかご 3 6 が設けられる。かご 3 6 は、後述するリアピラー 4 0 a, 4 0 b に支持される。なお、図面が煩雑になることを避けるために、図 3 ～図 5 においてはかご 3 6 を図示していない。

[0025] 図 1 ～図 5 を参照して、シート部 1 4 よりも前方に一对のフロントピラー 3 8 a, 3 8 b が設けられ、シート部 1 4 よりも後方に一对のリアピラー 4 0 a, 4 0 b が設けられる。詳細な説明は省略するが、フロントピラー 3 8 a, 3 8 b の下端部（図示せず）およびリアピラー 4 0 a, 4 0 b の下端部（図示せず）は、フレーム部 1 2 に支持される。

[0026] 図 1 ～図 3 を参照して、フロントピラー 3 8 a, 3 8 b は、後方に傾くように下から上に延びる。リアピラー 4 0 a, 4 0 b は、下から上に真っ直ぐに延びた後、前方に傾くように屈曲する。リアピラー 4 0 a の上部とリアピラー 4 0 b の上部とを連結するように、グラブバー 4 2 が設けられる。図 1 ～図 5 を参照して、屋根部 2 8 は、シート部 1 4 の上方を覆うようにフロントピラー 3 8 a, 3 8 b およびリアピラー 4 0 a, 4 0 b によって支持される。なお、図 4 においては、図面が煩雑になることを避けるために、屋根部 2 8 を簡略化して示している。

[0027] 図 1 ～図 3 を参照して、背もたれ 3 2 の前方にステアリングホイール 4 4 が設けられる。ステアリングホイール 4 4 は、ステアリングシャフト 4 6 および図示しない連結機構を介してフロントホイール 1 6 a, 1 6 b に連結される。なお、図 4 においては、図面が煩雑になることを避けるためにステア

リングホイール４４を図示していない。

[0028] 図１および図２を参照して、フレーム部１２を上方から覆うように、ボディカバー４８が設けられる。詳細な説明は省略するが、ボディカバー４８はフレーム部１２に支持される。ボディカバー４８は、たとえば樹脂材料からなる。図１～図３を参照して、ボディカバー４８は、ボトムカバー部５０、フロントカバー部５２、センターカバー部５４、およびリアカバー部５６を含む。

[0029] ボトムカバー部５０は、シート部１４に座る運転者および同乗者が足を載せることができるように、ゴルフカート１０の下部において水平方向に延びる。すなわち、ボトムカバー部５０は、ゴルフカート１０のキャビンスペースの底部を構成する部材である。ボトムカバー部５０の両側部は、メインフレーム１２ａ、１２ｂの中央部の側方を覆うように下方に屈曲する。ボトムカバー部５０としては、公知のゴルフカートのボトムカバー部と同様の構成のものをを用いることができるので、ボトムカバー部５０の詳細な説明は省略する。

[0030] フロントカバー部５２は、ボトムカバー部５０の前部に接続されかつフロントタイヤ１８ａ、１８ｂの上方を覆う。フロントカバー部５２としては、公知のゴルフカートのフロントカバー部と同様の構成のものをを用いることができるので、フロントカバー部５２の詳細な説明は省略する。

[0031] 図１～図３を参照して、フロントカバー部５２の後方にセンターカバー部５４が設けられる。センターカバー部５４は、フロントパネル部５８、アップパーパネル部６０、アップパーパネル部６２、一对のサイドパネル部６４ａ、６４ｂ、一对のサイドパネル部６６ａ、６６ｂ、一对のサイドパネル部６８ａ、６８ｂ、および一对の支持パネル部７０ａ、７０ｂを含む。

[0032] フロントパネル部５８は、ボトムカバー部５０から上方に延びかつゴルフカート１０の幅方向に延びる。アップパーパネル部６０は、シート部１４の下方において、フロントパネル部５８の上端部から後方に延びる。シート部１４（図４参照）と同様に、アップパーパネル部６０の後部の中央部（ゴルフカ

ート 10 の幅方向における中央部) は、後方に膨らんでいる。図 1 および図 2 を参照して、複数の支持フレーム 12 c の上端部はアップパーパネル部 60 から上方に突出してシート部 14 を支持する。

[0033] アップパーパネル部 62 は、上方に膨らみつつアップパーパネル部 60 から後方に延びる。アップパーパネル部 62 の下方には、リアホイール 20 a, 20 b および／またはフロントホイール 16 a, 16 b を駆動するための図示しない駆動源（たとえばエンジン）が配置される。

[0034] サイドパネル部 64 a はフロントパネル部 58 の左端部から後方に延び、サイドパネル部 64 b はフロントパネル部 58 の右端部から後方に延びる。サイドパネル部 64 a, 64 b の上端部はアップパーパネル部 60 に接続される。

[0035] サイドパネル部 66 a はアップパーパネル部 62 の左端部から下方に延び、サイドパネル部 66 b はアップパーパネル部 62 の右端部から下方に延びる。図 1 および図 3 を参照して、サイドパネル部 68 a は、サイドパネル部 64 a とサイドパネル部 66 a との間において、アップパーパネル部 60 の後部から下方に延びる。サイドパネル部 68 a の右端部はサイドパネル部 66 a に接続される。サイドパネル部 68 a（より具体的には、サイドパネル部 68 a の外面）は、ゴルフカート 10 の外側かつ斜め後方を向くように設けられる。サイドパネル部 68 a は、ゴルフカート 10 の外側かつ斜め後方から見た場合に略三角形形状を有する。

[0036] 図 2 を参照して、サイドパネル部 68 b はサイドパネル部 68 a に対して左右対称となる形状を有する。サイドパネル部 68 b は、サイドパネル部 64 b とサイドパネル部 66 b との間において、アップパーパネル部 60 の後部から下方に延びる。サイドパネル部 68 b の左端部はサイドパネル部 66 b に接続される。

[0037] 図 1 および図 3 を参照して、支持パネル部 70 a は、サイドパネル部 68 a の下端部から後方斜め下方に延びる。支持パネル部 70 a の左端部はサイドパネル部 64 a に接続され、支持パネル部 70 a の右端部はサイドパネル

部 6 6 a に接続される。支持パネル部 7 0 a（より具体的には、支持パネル部 7 0 a の上面）は、後方斜め上方を向くように設けられる。支持パネル部 7 0 a は、リアタイヤ 2 2 a の前方に位置する。支持パネル部 7 0 a 上に載置部材 2 6 a が設けられる。

[0038] 図 1、図 3 および図 4 を参照して、載置部材 2 6 a は、平板状の載置部 7 2 a、載置部 7 2 a の左縁から上方に延びる係止部 7 4 a、および載置部 7 2 a の後縁から後方斜め上方に延びる係止部 7 5 a を含む。載置部 7 2 a（より具体的には、載置部 7 2 a の上面）は、後方斜め上方を向くようにリアタイヤ 2 2 a の前方に設けられる。

[0039] 図 1 および図 3 を参照して、載置部 7 2 a は、たとえば、図示しない締結部材を用いて支持パネル部 7 0 a に固定される。これにより、載置部 7 2 a は、ボディカバー 4 8 を介してフレーム部 1 2 に支持される。

[0040] 図 1 および図 4 を参照して、載置部 7 2 a の少なくとも一部は、シート部 1 4 よりも後方に位置する。図 1 を参照して、載置部 7 2 a は、側面視においてリアタイヤ 2 2 a の接線 L 1 よりも下方に位置し、かつリアホイール 2 0 a の回転中心 R 1 よりも前方に位置する。接線 L 1 は、側面視において回転中心 R 1 の上方を通りかつシート部 1 4 の後端を通るリアタイヤ 2 2 a の接線である。なお、この実施形態においてシート部 1 4 の後端とは、シート部 1 4 の上面 1 4 a の後端を意味する。上面 1 4 a は、シート部 1 4 の外面のうちシート部 1 4 の平面視において見える領域であり、図 1 および図 2 において二点鎖線よりも上方の領域である。載置部 7 2 a の前端は、シート部 1 4 の後端よりも前方に位置する。

[0041] 図 2 を参照して、支持パネル部 7 0 b は支持パネル部 7 0 a（図 1 および図 3 参照）に対して左右対称となる形状を有する。支持パネル部 7 0 b は、サイドパネル部 6 8 b の下端部から後方斜め下方に延びる。支持パネル部 7 0 b の右端部はサイドパネル部 6 4 b に接続され、支持パネル部 7 0 b の左端部はサイドパネル部 6 6 b に接続される。支持パネル部 7 0 b（より具体的には、支持パネル部 7 0 b の上面）は、後方斜め上方を向くように設けら

れる。支持パネル部 70b は、リアタイヤ 22b の前方に位置する。支持パネル部 70b 上に載置部材 26b が設けられる。

[0042] 図 2 および図 4 を参照して、載置部材 26b は載置部材 26a に対して左右対称となる構成を有し、載置部 72b、係止部 74b および係止部 75b を含む。載置部 72b（より具体的には、載置部 72b の上面）は、後方斜め上方を向くようにリアタイヤ 22b の前方に設けられる。

[0043] 図 2 を参照して、載置部 72b は、たとえば、図示しない締結部材を用いて支持パネル部 70b に固定される。これにより、載置部 72b は、ボディカバー 48 を介してフレーム部 12 に支持される。

[0044] 図 2 および図 4 を参照して、載置部 72b の少なくとも一部は、シート部 14 よりも後方に位置する。図 2 を参照して、載置部 72b は、側面視においてリアタイヤ 22b の接線 L2 よりも下方に位置し、かつリアホイール 20b の回転中心 R2 よりも前方に位置する。接線 L2 は、側面視において回転中心 R2 の上方を通りかつシート部 14（上面 14a）の後端を通るリアタイヤ 22b の接線である。載置部 72b の前端は、シート部 14 の後端よりも前方に位置する。

[0045] 図 1 および図 2 を参照して、この実施形態では、側面視において、載置部 72a と載置部 72b とが重なり、回転中心 R1 と回転中心 R2 とが重なり、接線 L1 と接線 L2 とが重なる。したがって、載置部 72a は、側面視において接線 L2 よりも下方に位置し、かつ回転中心 R2 よりも前方に位置する。また、載置部 72b は、側面視において接線 L1 よりも下方に位置し、かつ回転中心 R1 よりも前方に位置する。

[0046] 図 5 を参照して、背面視において、載置部材 26a、26b（載置部 72a、72b：図 4 参照）はリアピラー 40a、40b よりも外側に設けられる。この実施形態では、載置部材 26a（載置部 72a）の全体がリアピラー 40a よりも外側に位置し、載置部材 26b（載置部 72b）の全体がリアピラー 40b よりも外側に位置する。載置部材 26a、26b は、たとえば樹脂材料からなる。

- [0047] 図1～図3を参照して、リアカバー部56は、センターカバー部54の後端部に接続されかつリアタイヤ22a, 22bの上方を覆う。この実施形態では、リアカバー部56の前縁の両端部は、ボトムカバー部50に接続される。図3～図5を参照して、リアカバー部56は、凹部56aを有する。凹部56aは、リアカバー部56の後部の中央部に設けられ、前方に向かって凹む。ステップ24に乗っているゴルファー等は、たとえば、凹部56aに足を載せることもできるし、荷物を載せることもできる。なお、リアカバー部56としては公知のリアカバー部と同様の構成のものを用いることができるので、リアカバー部56の詳細な説明は省略する。
- [0048] 図1～図5を参照して、ステップ24は、リアタイヤ22a, 22bよりも後方まで延びるように、リアカバー部56の後方に設けられる。この実施形態では、ステップ24の全体がリアタイヤ22a, 22bの後端よりも後方に位置する。ステップ24は、たとえば樹脂材料からなる。
- [0049] 図1、図2および図4を参照して、ステップ24は中空形状を有し、下方に向かって開口する。具体的には、図1～図5を参照して、ステップ24は、天井部24a、一对の側壁部24b, 24c、前壁部24d、および後壁部24eを有する。天井部24aは、平面視においてゴルフカート10の幅方向に延びるように略長形状を有する。側壁部24bは天井部24aの左端部から下方に延び、側壁部24cは天井部24aの右端部から下方に延びる。前壁部24dは天井部24aの前端部から下方に延び、後壁部24eは天井部24aの後端部から下方に延びる。図4を参照して、平面視において、側壁部24b, 24cは、ゴルフカート10の内側にやや傾くように前から後に延びる。平面視において、前壁部24dおよび後壁部24eは、後方に向かって緩やかに湾曲する。
- [0050] 図1、図2および図4を参照して、ステップ24の内側に、支持部材76が設けられる。支持部材76は、角筒形状を有しかつゴルフカート10の幅方向に延びる。ステップ24の内側において、支持部材76から後方に延びるように、側面視略長形状を有する複数（この実施形態では3つ）の支持

部材 7 8 が設けられる。ステップ 2 4 の天井部 2 4 a は、支持部材 7 6 および複数の支持部材 7 8 によって下方から支持される。天井部 2 4 a は、たとえば図示しない複数の締結部材によって支持部材 7 6 に固定される。なお、図示は省略するが、弾性材料を含むマットを天井部 2 4 a 上に設けてもよい。この場合、マットによって振動を吸収できるので、ゴルファー等は快適にステップ 2 4 に乗ることができる。

[0051] 図 1、図 2 および図 4 を参照して、支持部材 7 6 は、連結部材 8 0 a, 8 0 b を介してメインフレーム 1 2 a, 1 2 b に連結される。図 1 を参照して、連結部材 8 0 a は、メインフレーム 1 2 a の後端部から下方に延びた後、後方に延びて支持部材 7 6 の下面に接続される。図 2 を参照して、連結部材 8 0 b は、メインフレーム 1 2 b の後端部から下方に延びた後、後方に延びて支持部材 7 6 の下面に接続される。このような構成によって、ステップ 2 4 は、支持部材 7 6 および連結部材 8 0 a, 8 0 b を介してフレーム部 1 2 に支持される。連結部材 8 0 a, 8 0 b は、たとえば、メインフレーム 1 2 a, 1 2 b および支持部材 7 6 に溶接される。

[0052] 図 5 を参照して、ゴルフカート 1 0 の幅方向におけるステップ 2 4 の寸法 D は、リアタイヤ 2 2 a, 2 2 b の外側の端部間の距離 d 1 よりも小さくかつリアタイヤ 2 2 a, 2 2 b の内側の端部間の距離 d 2 よりも大きい。

[0053] 図 3～図 5 を参照して、保持ユニット 3 0 a は、支持部 8 2 a、ベルト 8 4 a および留め具 8 6 a を含み、保持ユニット 3 0 b は、支持部 8 2 b、ベルト 8 4 b および留め具 8 6 b を含む。なお、図 4 および図 5 においては、図面が煩雑になることを避けるために、留め具 8 6 a, 8 6 b を簡略化して示している。

[0054] 図 3 および図 5 を参照して、支持部 8 2 a は背面視逆 L 字形状を有し、リアピラー 4 0 a の側方から後方斜め下方に延びた後、ゴルフカート 1 0 の外側に向かって延びる。支持部 8 2 a の一端部（この実施形態では前端部）にベルト 8 4 a の一端部が固定され、支持部 8 2 a の他端部（この実施形態では左端部）に留め具 8 6 a が固定される。ベルト 8 4 a は留め具 8 6 a に通

される。留め具 86 a としてはベルト 84 a を固定できる公知の種々の留め具を用いることができるので、留め具 86 a の詳細な説明は省略する。また、保持ユニット 30 b は保持ユニット 30 a に対して左右対称となる構成を有するので、保持ユニット 30 b の各構成要素の詳細な説明は省略する。

[0055] 図 5 を参照して、支持部 82 a の前部は、連結部材 88 a を介してリアピラー 40 a に連結され、支持部 82 b の前部は、連結部材 88 b を介してリアピラー 40 b に連結される。これにより、保持ユニット 30 a, 30 b がリアピラー 40 a, 40 b に支持される。

[0056] 図 1、図 3 および図 5 を参照して、支持部 82 a, 82 b は、載置部 72 a, 72 b よりも上方かつ屋根部 28 よりも下方に位置する。図 1～図 4 を参照して、支持部 82 a, 82 b は、載置部 72 a, 72 b よりも後方でかつリアタイヤ 22 a, 22 b の後端よりも前方に位置する。この実施形態では、支持部 82 a, 82 b の全体が載置部 72 a, 72 b の後端よりも後方に位置する。また、この実施形態では、支持部 82 a, 82 b の全体がリアタイヤ 22 a, 22 b の後端よりも前方に位置する。図 4 を参照して、平面視において支持部 82 a の後端および支持部 82 b の後端は屋根部 28 と重ならない。言い換えると、平面視において、支持部 82 a の後端および支持部 82 b の後端は屋根部 28 から露出する。

[0057] 図 1～図 5 を参照して、ゴルフカート 10 の後部に、側面視（右から見た場合）において略 C 字形状を有するグラブハンドル 90 a, 90 b が設けられる。グラブハンドル 90 a, 90 b の一端部（上側の端部）は、支持部 82 a, 82 b に固定される。グラブハンドル 90 a, 90 b の他端部（下側の端部）は、たとえば、ステップ 24 の内側において支持部材 76（図 4 参照）に固定される。グラブハンドル 90 a, 90 b および上述のグラブバー 42 は、ステップ 24 に乗ったゴルファー等が掴むために設けられる。

[0058] 図 1、図 2 および図 5 を参照して、ゴルフカート 10 によれば、たとえば、2 つのゴルフバッグ 92 a, 92 b を運ぶことができる。なお、実際には、ゴルフバッグ 92 a, 92 b には複数のゴルフクラブが収容されるが、図

面が煩雑になることを避けるためにゴルフクラブは図示していない。また、図3および図4においては、図面が煩雑になることを避けるためにゴルフバッグ92a, 92bを図示していない。

[0059] 図1を参照して、ゴルフバッグ92aの底部は、載置部72aに支持される。図2を参照して、ゴルフバッグ92bの底部は、載置部72bに支持される。図1および図2を参照して、係止部74a, 74bは、ゴルフバッグ92a, 92bの底部がゴルフカート10の外側に移動することを規制する。係止部75a, 75bは、ゴルフバッグ92a, 92bの底部とリアカバー部56との接触を防止する。

[0060] 図5を参照して、ゴルフバッグ92aの上部は支持部82aに支持され、ゴルフバッグ92bの上部は支持部82bに支持される。ゴルフバッグ92aの上部はベルト84aによって締め付けられることによって保持ユニット30aに保持され、ゴルフバッグ92bの上部はベルト84bによって締め付けられることによって保持ユニット30bに保持される。

[0061] 以下、ゴルフカート10の作用効果を説明する。

ゴルフカート10では、リアタイヤ22a, 22bよりも後方まで延びるようにステップ24が設けられ、リアホイール20a, 20bの回転中心R1, R2よりも前方に載置部72a, 72bが設けられる。言い換えると、側面視において回転中心R1, R2を間に挟むようにステップ24および載置部72a, 72bが設けられる。このようにステップ24および載置部72a, 72bを配置することによって、ゴルファー等がステップ24に乗る際に載置部72a, 72bおよびゴルフバッグ92a, 92bが邪魔にならない。これにより、ステップ24の前後方向の寸法を大きくしなくても、ゴルファー等は容易にステップ24に乗ることができる。したがって、ゴルフカート10を小型に構成できる。また、載置部72a, 72bは、側面視において、回転中心R1, R2の上方を通りかつシート部14の後端を通るリアタイヤ22a, 22bの接線L1, L2よりも下方に設けられる。この場合、載置部72a, 72bを十分に低い位置に配置できる。これにより、ゴ

ゴルフバッグ 92 a, 92 b を後方に大きく傾けなくてもゴルフバッグ 92 a, 92 b の上端部の位置を低くできる。その結果、ゴルファー等はゴルフバッグ 92 a, 92 b からゴルフクラブを容易に取り出すことができる。

[0062] ゴルフカート 10 では、載置部 72 a, 72 b の前端は、シート部 14 の後端よりも前方に位置する。このように載置部 72 a, 72 b を配置することによって、ゴルフカート 10 の前後方向の寸法を小さくできる。

[0063] ゴルフカート 10 では、ステップ 24 の幅方向の寸法 D は、リアタイヤ 22 a, 22 b の外側の端部間の距離 d1 よりも小さくかつリアタイヤ 22 a, 22 b の内側の端部間の距離 d2 よりも大きい。このようにステップ 24 の寸法 D を設定することによって、ステップ 24 が大きくなり過ぎることを防止しつつ、ステップ 24 の平面視における面積を十分に確保できる。これにより、ゴルファー等は、ステップ 24 の前後方向の寸法を大きくしなくても容易にステップ 24 に乗ることができ、かつ走行する際にゴルフカート 10 の横を通り過ぎる人や物と接触することを防ぐ（または抑制する）ことができる。

[0064] ゴルフカート 10 では、ゴルフバッグ 92 a, 92 b の上部を支持する支持部 82 a, 82 b がゴルフバッグ 92 a, 92 b の底部を支持する載置部 72 a, 72 b よりも上方かつ後方に設けられるので、ゴルフバッグ 92 a, 92 b を後方に傾けることができる。これにより、ゴルファー等はゴルフバッグ 92 a, 92 b からゴルフクラブをさらに容易に取り出すことができる。また、支持部 82 a, 82 b が一對のリアタイヤ 22 a, 22 b の後端よりも前方に設けられるので、ゴルフバッグ 92 a, 92 b の上部の位置が後方になり過ぎることを防止できる。これにより、ゴルファー等がステップ 24 に乗る際にゴルフバッグ 92 a, 92 b が邪魔になることを十分に抑制できる。

[0065] ゴルフカート 10 では、平面視において屋根部 28 と支持部 82 a, 82 b の後端とが重ならない。この場合、平面視において、支持部 82 a, 82 b の後端を屋根部 28 から露出させることができる。これにより、ゴルフ

一等がゴルフバッグ 92 a, 92 b からゴルフクラブを取り出す際に屋根部 28 が邪魔にならない。

[0066] ゴルフカート 10 では、載置部 72 a, 72 b が後方斜め上方を向いているので、ゴルフバッグ 92 a, 92 b を後方に容易に傾けることができる。

[0067] ゴルフカート 10 では、リアタイヤ 22 a, 22 b の前方にそれぞれ載置部 72 a, 72 b が設けられる。この場合、2つのゴルフバッグ 92 a, 92 b を分散して配置できるので、各ゴルファーは自分のゴルフバッグ 92 a (またはゴルフバッグ 92 b) からゴルフクラブを容易に取り出せる。

[0068] 上述の実施形態では、ステップ 24 の全体がリアタイヤ 22 a, 22 b の後端よりも後方に位置する場合について説明したが、ステップの位置は上述の例に限定されない。ステップは、一对のリアタイヤよりも後方まで延びるように設けられていればよく、ステップの一部が一对のリアタイヤよりも前方に位置していてもよい。

[0069] 上述のゴルフカート 10 において載置部材 26 a, 26 b が設けられなくてもよい。この場合、支持パネル部 70 a, 70 b がそれぞれ載置部として機能する。

[0070] 上述の実施形態では、クラブバー 42 およびクラブハンドル 90 a, 90 b がゴルフカート 10 の後部に設けられる場合について説明したが、ゴルファー等が掴むことができる部材が他に設けられていれば、クラブバー 42 およびクラブハンドル 90 a, 90 b が設けられなくてもよい。たとえば、上述のリアピラー 40 a, 40 b の代わりに、ゴルファー等が掴むことができるように後方に湾曲した一对のリアピラーがゴルフカートに設けられる場合には、クラブバー 42 およびクラブハンドル 90 a, 90 b が設けられなくてもよい。

[0071] 上述の実施形態では、背面視において、載置部材 26 a, 26 b (載置部 72 a, 72 b) がリアピラー 40 a, 40 b よりも外側に位置する場合について説明したが、一对の載置部材 (一对の載置部) が一对のリアピラーよりも内側に位置するように、一对の載置部材 (一对の載置部) および一对の

リアピラーが配置されてもよい。

[0072] 以上、この発明の好ましい実施形態について説明されたが、この発明の範囲および精神を逸脱しない限りにおいて種々の変更が可能であることは明らかである。この発明の範囲は、添付された請求の範囲のみによって限定される。

符号の説明

[0073]	10	ゴルフカート
	12	フレーム部
	14	シート部
	16a, 16b	フロントホイール
	18a, 18b	フロントタイヤ
	20a, 20b	リアホイール
	22a, 22b	リアタイヤ
	24	ステップ
	26a, 26b	載置部材
	28	屋根部
	72a, 72b	載置部
	82a, 82b	支持部
	92a, 92b	ゴルフバッグ
	D	ステップの寸法
	d1	リアタイヤの外側の端部間の距離
	d2	リアタイヤの内側の端部間の距離
	L1, L2	接線
	R1, R2	回転中心

請求の範囲

- [請求項1] フレーム部と、
前記フレーム部に支持されるシート部と、
前記シート部よりも前方に設けられる一対のフロントホイールと、
前記一対のフロントホイールに取り付けられる一対のフロントタイヤと、
前記シート部よりも後方に設けられる一対のリアホイールと、
前記一対のリアホイールに取り付けられる一対のリアタイヤと、
前記フレーム部に支持されかつ前記一対のリアタイヤよりも後方まで延びるステップと、
ゴルフバッグの底部を支持できかつ少なくとも一部が前記シート部よりも後方に設けられる載置部とを備え、
前記載置部は、側面視において、前記各リアホイールの回転中心の上方を通りかつ前記シート部の後端を通る前記各リアタイヤの接線よりも下方に設けられ、かつ前記各回転中心よりも前方に設けられる、ゴルフカート。
- [請求項2] 前記載置部の前端は前記シート部の前記後端よりも前方に位置する、請求項1に記載のゴルフカート。
- [請求項3] 当該ゴルフカートの幅方向における前記ステップの寸法は、前記一対のリアタイヤの外側の端部間の距離よりも小さくかつ前記一対のリアタイヤの内側の端部間の距離よりも大きい、請求項1または2に記載のゴルフカート。
- [請求項4] 前記シート部の上方を覆う屋根部と、前記載置部よりも上方かつ前記屋根部よりも下方において前記ゴルフバッグの上部を支持できる支持部とをさらに備え、
前記支持部は、前記載置部よりも後方でかつ前記一対のリアタイヤの後端よりも前方に設けられる、請求項1から3のいずれかに記載のゴルフカート。

- [請求項5] 平面視において前記屋根部と前記支持部の後端とが重ならない、請求項4に記載のゴルフカート。
- [請求項6] 前記載置部は後方斜め上方を向く、請求項1から5のいずれかに記載のゴルフカート。
- [請求項7] 前記一対のリアタイヤの前方にそれぞれ前記載置部が設けられる、請求項1から6のいずれかに記載のゴルフカート。